

非住宅拡大工場を増設

大型材や複雑形状対応

ウッドイパーツ

木材加工のウッドイパーツ（高岡市能町、松原隆泰社長）は、既存の工場の隣接地に第3工場を建設し、コンピューターを使った設計システムと連動した最新鋭の加工機を備えた。大型材や複雑な形状の加工が容易になり、公共施設や商業施設といった非住宅分野の受注拡大を目指す。



で、建築用のプレカット材を販売している。第3工場は鉄骨平屋2117平方メートル。新たに備えた機械により、コンピューター設計に沿った加工が自動でできるようになり、生産スピードが大幅にアップした。従来の2倍に相当する長さ12メートル、厚さ3メートルまでの大型材に対応し、個別の注文に応じた複雑な成形も可能になった。

同社は、住宅関連事業を展開するサニーライブホールディングス（HD、中村正治社長）のグループ会社最新鋭の加工機（右）を備えた第3工場
高岡市能町

工場全体の生産能力は1.5倍となり、1カ月に建坪40坪の住宅で150戸分のプレカット材を供給できるようになった。新設の住宅着工の減少が見込まれる一方、木材の利用を

高岡商工会議所は26日、四半期ごとに実施している地域経済動向調査の結果を発表し、売上高が前期より減少したと答えた会員企業は43.7%と前回の調査の26.5%を大きく上回った。景気の減速感を示す結果となった。

調査は市内に事業所がある356社を対象に実施し、44.7%の159社が回答した。売上高が増加したと答えたのは19.6%で、前回の34.3%から14.7ポイント落ち込んだ。「変わらない」は36.7%（前回39.2%）だった。業種別では、建設業とサービス業で

高岡商議

前年同期
答が多か
小売業は
来期の
を占め、
多くの企
状況がう
川村人
の議員総
従業員が
りを進め
あいさつ

明専務は「多様なニーズに対応した加工ができることをアピールし、非住宅分野の需要を掘り起こしていきたい」と話している。

促す国や県の施策もあって保育所や介護施設、店舗などで木造建築を取り入れる動きが広がっている。

サニーライブHDの堀井孝

バイオ後続品 製販承認取得

陽進堂なぶ3社

関節リウマチ治療薬のバイオ後続品「エタネルセプト」について、インド製薬大

手ルピン・リミテッドの子会社共和薬品工業（大阪）、陽進堂（富山市婦中町萩島）とルピンの合弁会社YLバイオロジクス（東京）は26日、それぞれ製造販売承認を取得した。両社が同日発表